

◆はじめに

この度は、FBアカウント対策のレポートに興味を持って頂き、ありがとうございます。改めまして、合同会社Orangeの、山口すばると申します。

弊社では普段、ASPアフィリエイト・運用代行に加えて、FB広告の有料コミュニティ（JVしている会社さんと運営）で講師として延べ1000名以上の方のサポートに当たってきました。僕がFBのアカウント対策について圧倒的に強くなったのは、この環境での情報収集ができたからというのが、一番大きいです。

コミュニティメンバーから常に新鮮な情報を得て、問題が起きた時にはその対策方法をアドバイスし続けてきました。そのために、アカウント対策に関しては今までに数百万の費用をかけて検証してきたので、圧倒的な情報量と対処法のノウハウが確立されています。

また、自社で行なっているFB広告運用で利益を出し続けていられるのは、アカウント対策が圧倒的に強いために、生き残ることができていると思っています。

実際にFB広告について指導していると、運用方法の質問が3割、残りの7割くらいはアカウント問題についての質問が多い印象を受けます。今までに僕がサポートしてきた方々の中でも、大きな利益が出るクリエイティブ・記事までたどり着いたとしても、アカウント停止によってFB広告からの撤退を余儀なくされた方々を多く見してきました。

その都度、僕からアカウント対策についてのノウハウ・テクニックをお伝えするのですが、状況は常に変わる上に、ポイントだけをお伝えしても根本から対策をすることはとても難しいという事実がありました。何か問題が起きた時の対応策をその都度、教えるだけでは、また同じ問題に必ずぶつかってしまいます。それに耐えきれず、利益が出ていても気持ちが持たずに撤退してしまう。そんな方を山ほど見してきました。

FB広告をご存知の通り、他の媒体に比べても圧倒的に利益率が高い媒体です。もちろん、復活できれば利益は戻りますし、アカウント対策を知っていれば売り上げを増やしていきやすいというのは揺るがない真実です。

アカウント対策に強いと、運用する立場としては最高の精神状態でビジネスを進められます。もしアカウントが停止したとしてもすぐに復活できるので、売り上げ・利益もすぐに復活しますし、結果として売り上げの規模が大きくなります。一時的に売り上げが減ったとしても、『すぐ復活できるから、大丈夫』という強気な姿勢でビジネスを進めることができるのは本当に強いです。

アカウント問題については、ポイントごとにアドバイスするだけでは一時的な“しのぎ”になっても、必ずもっと大きな問題が起きます。その時に対応できるようにするためには、全体像を理解した上で、正しい対処法を実践し続ける必要があります。

だからこそ、今回はこのコンテンツを用意させて頂きました。少し長めの内容にはなっていますが、今後FB広告で生き残り続けるための羅針盤とも言える内容になっています。現在進行形で弊社が行っているFBのアカウント対策をお伝えさせて頂きますので、参考にして頂けると幸いです。

また、今回のレポート作成に当たり、事前に質問・困っていることを募集したところ、多くのご質問・ご要望を頂きました。



お忙しい中のご質問を頂き、ありがとうございます。
頂いたご質問に関しては、このレポートの最後に直接回答していきますので、後ほどご確認
頂けますと幸いです。

合わせて、事前にリツイート・リップして下さった方々のおかげで、レポートリリースまで漕
ぎ着けることができました。この場を借りて、お礼をお伝えさせていただきます。本当にありが
とうございます。



また、今後もツイッター（@BChangegear）で情報発信していくので、フォローして頂けると幸いです。

◆本コンテンツ内での用語について

さっそく本題に入りたいところですが、このレポートの中で何度も出てくるキーワードについて、共通認識が異なってしまうと、内容を正しく伝えることができなくなってしまいま

す。既にご存知の方も多いとは思いますが、念のために表現方法についての統一をしておきますのでご理解頂けますと幸いです。

【アカウント停止】

アカウント停止にはビジネスマネージャー・広告アカウント停止の2種類があります。アカウント停止のことを“BAN”と表現することもあります。

【セキュリティロック】

個人アカウントが不審なアクティビティ等でロックがかかっている状態のこと。解除できる場合と、そうでない場合があります。

【広告の利用制限】

個人アカウントに対するペナルティ。このペナルティを受けると、その個人アカウントでは広告を操作することが一切できなくなります。

【ビジマネ】

ビジネスマネージャー（ビジネスアカウント）のこと。

【アクティビティ】

一般的には個人アカウントで行う行為（いいね・コメント・友達申請etc）を指します。それだけではなく、ビジネスアカウントで行う行為（決済登録・アカウント作成etc）もアクティビティと言います。

【アクティビティを溜める】

FB側からの信用度を高めることを指しています。その指標は様々あり、友達の人数や質・FBにログインしている時間・コメントなど。

◆コロナで変わったFBの常識

今現在、FB広告に取り組まれてる人の中には、すでにアカウント問題で悩まされている方もとても多くいらっしゃるかと思います。今回のレポートは、“BAN対策”ではなく、“FBアカウント対策”という表現をしているのは、今までのアカウント停止対策では対応するのが難しくなってきたためです。

ご存知の方もいるかとは思いますが、広告アカウント・ビジネスアカウント（ビジマネ）の対策を考えるだけではもはや通用せず、個人アカウントをしっかりと考えていくことが結果的にBAN対策にもつながります。

その理由として、コロナ以降にFB社の体制が変わったためです。コロナの影響によって様々な会社・サービスでもルールや体制が変わりましたが、特にFB社のセキュリティ体制が今までと比べてガラリと変わりました。アカウント対策について考えるのであれば、全てがこの部分から始まり、全ての土台になってきます。

具体的には、今まで人力で判断・対処していたことのほとんどがAIに任されるようになってしまったためです。AIがセキュリティ対策の判断をする割合が圧倒的に高まったので、このAIがどういった行動・判断をするかを先に予測し、対策していくことが結果的にFB広告の

アカウント対策になってきます。今回のコンテンツでは、具体例を挙げながらその全貌を解説していきます。

◆直近BANの傾向と対策

アカウント停止対策さえできれば大きな利益を残しやすいFB広告ですが、直近ではアカウント停止の傾向に大きな変化が出てきています。

FB側の今の体制をざっくりと表すと、「とりあえずアカウント停止します。もしポリシー違反じゃなかったら復活させるから、異議申し立てしてね」というスタンスになっています。ただ、ここで問題になってくるのが、そもそも異議申し立てをしにくくなってきているということです。

直近では、異議申し立てをしようとする本人確認が必要になり、その本人確認すらスルーされる・・・というケースが相次いでいます。これは個人アカウントによって変わっている内容です。本人確認の必要がなく、しっかり異議申し立てできてアカウントが復活されるといった個人アカウントも存在します。これら2つの間には大きな壁がありますが、単純に“その個人アカウントがFBからの信用があるかどうか”というだけの話です。

また、しっかり信用のある個人アカウントはそもそもアカウント停止にすらなりにくい事実があります。こういった背景があるので、しっかりと個人アカウントの信用を高めることが、FB広告で生き残るためには最低限の必須条件になっています。

そのためには、“アクティビティを溜める”ことが重要になってきます。目には見えないアクティビティのレベルが上がれば上がるほど、個人アカウントが強くなり、結果的にビジマネ・広告アカウントもアカウント停止しにくくなってきます。また、個人アカウントのアクティビティが低いとアップデートの影響をモロに食らいやすくなってしまいます。

アップデート時期にツイッターなどでアカウント停止の話が常に出てきますが、それらはアクティビティが低い個人アカウントから影響を受ける仕組みになっています。同じ行為をしていても、全く同じクリエイティブ・記事LPを出していても、個人アカウントのアクティビティやビジマネ・広告アカウントに耐性のないアカウントからアップデートの影響でアカウント停止になってきます。

これはバグの影響も受けてしまうので、個人アカウントをしっかり強くしておかないとアップデートには耐えられない、と理解しておくとうわりやすいかと思います。また、アクティビティが足りないとビジマネを作成できないので、正しい方法でFB側からの信用を得る方法を知ることが重要になってきます。

◆命とりになる！NGな情報収集

アカウント対策についてお伝えする前に、今後FB広告についての情報収集をする際に、ぜひ注意すべきことをお伝えしておきます。いつの時代も、正しい情報収集ができなければ生き残ることはできないので、非常に重要なお話になります。

ツイッターやnoteなどを見ていると、「●ヶ月、BANしてません！」という人の情報をたまに見かけますよね。こういった情報を見ていると、その人が神様のように見え、その人が話していること全てが正しいように聞こえてしまいます。ただし、今のFBの状況を鑑みると、そういった情報収集の仕方は非常に危険です。

その理由はとても単純で、今はFB広告の軸が個人アカウントにあるからです。FB側から信用のある個人アカウントで運用している広告アカウントは基本的に長生きします。なので、その人が言うことと同じ対策を他の人が普通の個人アカウントを使って実践しても、あまり意味はないんですね。それぞれの個人アカウントの状況を理解し、その上でできる最大限の対策を行っていくべきなんです。逆に言うと、常にアカウント停止・復活を繰り返している人の方が圧倒的にトライアンドエラーができていますので、ノウハウとしては強いです。

また、情報収集をする上でもう1つ注意したいのが、「FBの担当が言ってたんだけど・・・」系の話です。例えば、「FB広告はアフィリエイト禁止って言われた」「クッションページはポリシー違反と言われた」など。特にポリシー違反系について、ツイッターなどでこういった話が定期的に出てくることが多いですが、基本的には信用しない方が良いです。

というのも、FB担当の個人的な意見という要素が、すごく強いからなんです。その点については、背景を考えるとすごくわかりやすいです。

例えば、何か問題が起きた時にチャットや電話でFB担当にその原因を尋ねるとします。すると、FB担当がまず行うことは、“どのポリシー違反に該当しているかを確認する”ということです。実は、FB担当者もそこまでしか確認できないのが基本なんです。 「○○のポリシーに抵触したため、アカウント停止」といったざっくりした情報しか閲覧することはできません。その情報を持って、担当それぞれが目視でアカウント内を確認し、「これが原因かな？」と検討をつけて、アドバイスするわけです。

さらに、その担当というのが、ほとんどが日本でいうところの派遣社員のような立ち位置です。中には圧倒的なプロフェッショナル・経験値のある人もたまにいますが、ごく少数です。ほとんどはほぼ素人のような集団で、そういった人たちが何か問題が起きた場合に検討をつけますが、そのほとんどが“なんとなく、これかな”くらいの感覚で話しています。

また、その際に基本的にAIのバグの要素を考慮していないことも、問題です。バグの要素を考慮していないと、あまりにも検討はずれな検討をつけたり、締め付けが厳しすぎる判断をするケースが非常に多いです。

こういった背景があるので、基本的には「FBの担当が言ってたけど・・・」系の話は信用しないでいた方が良いです。その類の話を信用するかどうかは、「FB担当が言ってたから」ではなく、“その情報を発信してる人を信用できるかどうか”で判断しましょう。情報収集が命の業界だからこそ、ここは注意したいポイントです。

◆アカウント停止のパターンと特定方法

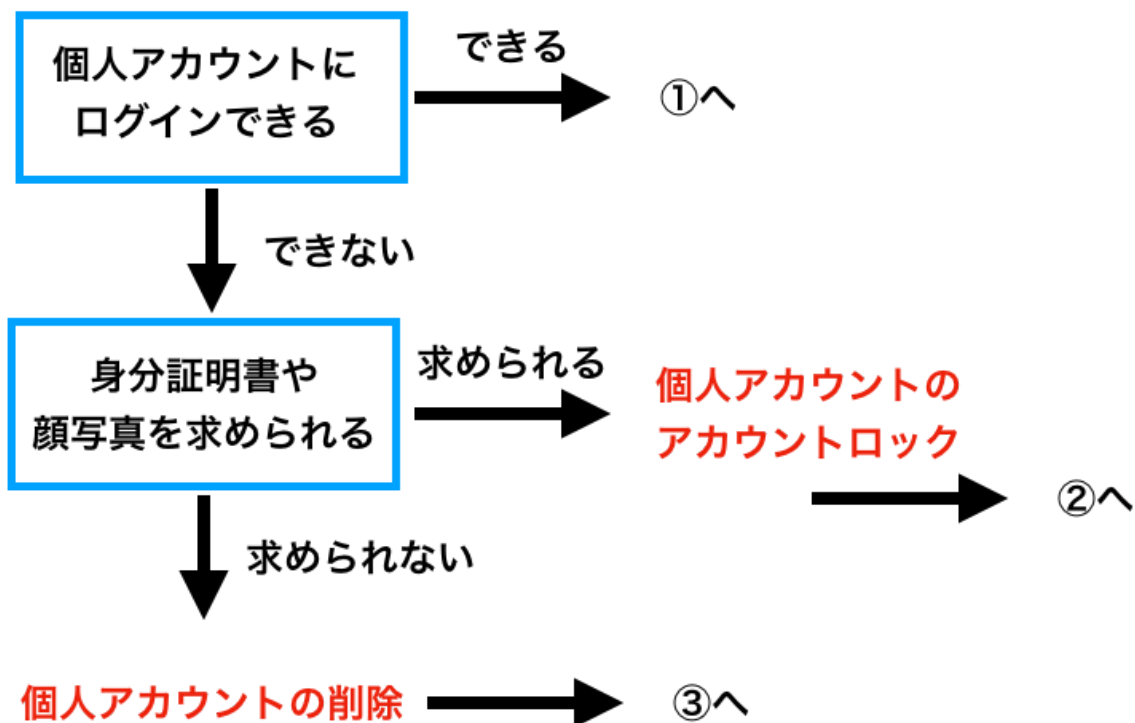
一般的に“BAN”と言われる場合も、ビジマネ・広告アカウントの停止に加え、広告の利用制限の場合もあります。それらの自体が起きた時、リカバリーを考えるよりもまず最初に、自分がどういった状況なのかを把握し、それぞれの状況に合わせた対策を行う必要があります。

経験のある人にはすでに慣れた事象かと思いますが、アカウント停止に慣れていないと状況すら把握できないケースが多いです。

そこで、状況を把握するためのフローチャートを用意しましたので、掲載します。Facebookのアカウント停止は、大きく分けると、回復が見込める【アカウントロック】か、回復が見込めない【アカウント停止（事実上の閉鎖）】に分けられます。

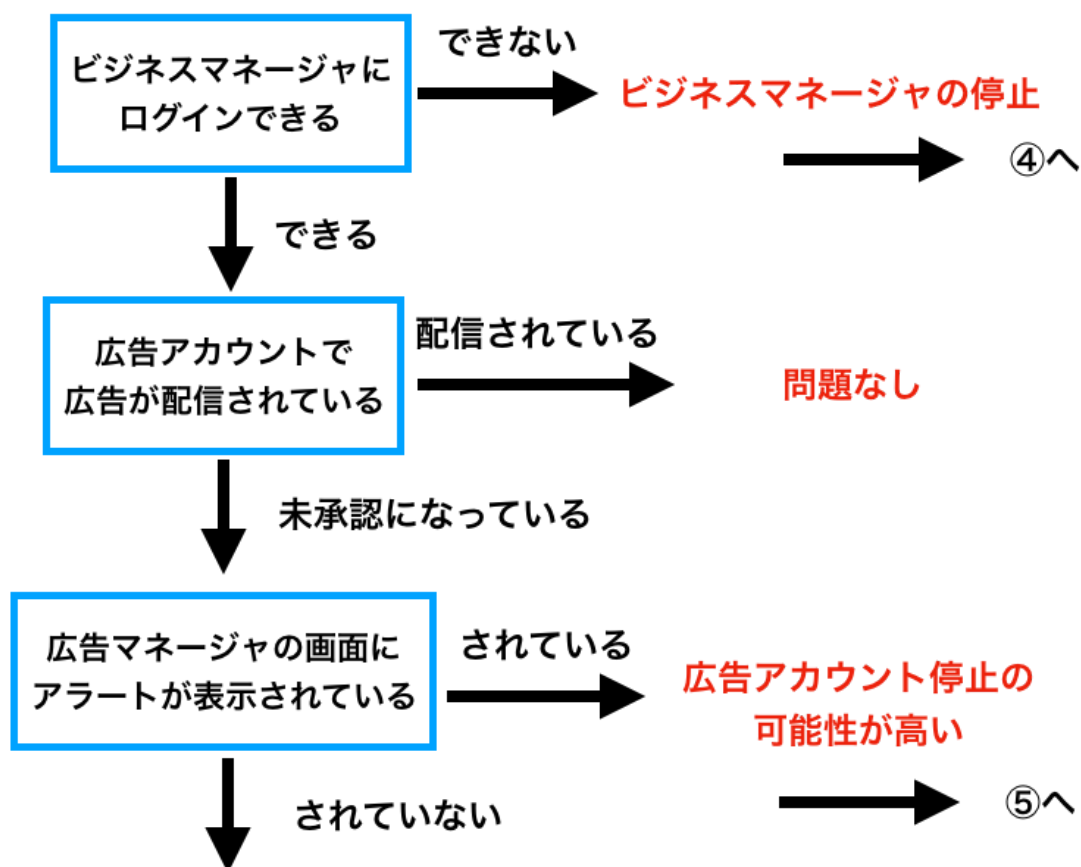
今後Facebook広告を運用する中で、もしもアカウント停止をされた際は、それぞれのアカウント停止の種類によって取るべき行動が変わってくるので、それぞれのケースを参考に行動してみてください。

アカウント停止フローチャート



①個人アカウントへはログインできる

個人アカウント（通常のSNSとしてのFacebook）にログインできるのであれば、下記のフローチャートを参考にしてください。



広告がポリシー違反などで未承認になっているだけです。

クリエイティブやLPを修正するか、問題ないのであれば異議申し立てをする

それぞれの対処方法は異なるので、自分の当てはまる項目を参照するようにしてください。

②個人アカウントがロックされたら？

アカウントロックされる原因としては、

- ・長年Facebookにログインしていなかった
- ・顔写真を登録（アップロード）していなかった
- ・本名ではなくニックネームで登録していた
- ・登録時と違う端末（パソコン・スマホなど）からログインがあった

などありますが、

どれもFacebookが不正ログイン（不審なアクティビティ）を疑い、アカウントが一時的に停止（ロック）されているケースがほとんどです。

これは欧州発の個人データ保護に関わる新しい法規制でもGDPR（一般データ保護規則）が施行された関係に加え、FBでセキュリティ対策が強化されていることが主な要因になっています。

もしロックされた場合には、FBの指示に従うしかありませんので、身分証明書の送信、写真の送信を行いましょう（公開されることはありません）。



The image shows a screenshot of the Facebook login interface. At the top, there is a blue bar with an information icon and the text "ログインしてください。" (Please log in.). Below this, the main heading is "Facebookにログイン" (Log in to Facebook). A yellow warning box contains the text "ログインしてください。" (Please log in.). The login form consists of two input fields: the first is for the email address, showing "@gmail.com" with a red bar obscuring the name; the second is for the password, with a "パスワード" (Password) label and a visibility toggle icon. Below the fields is a blue "ログイン" (Log In) button. Underneath the button, there is a link for "アカウントを忘れた場合" (If you forgot your account). At the bottom, there is a green button labeled "新しいアカウントを作成" (Create New Account).

いつも通りログインすると、下記のように本人確認のためのチェック事項が出る場合がありますので指示通り進みます。



ログイン前にいくつかのステップが必要です

あなたのアカウントに不審なアクティビティがありました。Facebookの利用を再開するには、追加情報を提供していただく必要があります。

次へ


【次へ】をクリックして進むと、指示が表示されます。

この中のお店の画像を
あるだけ全てクリック

今回は、「お店の外観」だったので、お店の外観が写った画像を全てにチェックを入れ、【確認】→【次へ】で進みます。


わかりにくい画像もありますが、間違えても再度チェックを入れて【確認】で進むことができます。


質問は他にも「信号に該当する画像を全てチェック」などその都度変わるので画面に表示される質問はしっかり読みましょう。




本人確認にご協力ください

セキュリティチェック

 私はロボットではありません


reCAPTCHA
プライバシー - 利用規約

このメッセージが表示される理由

 次へ

ロボットではありませんにチェックし、【次へ】をクリックします。



すると、上記のような顔写真の送信、もしくは身分証明書の提出を求められることがあります。

顔写真の送信・身分証明書の提出をすると下記のような画面が出て審査には5-14日ほど時間がかかりますが、問題なければアカウントのロックは解除されます。

【写真を選択】から自分の写真（または身分証）をアップします。



正しくアップできた場合、上記のような画面になります。

【OK】で進むと、下記のようなトップページに戻るので、これで完了です。

気が病む状態ですが、下手に同じIPアドレスで焦って個人アカウントを増やそうとするとすべてのアカウントが削除される可能性もありますので、この期間は気長に待ちましょう。



時間を置き、再度ログインしてみて、審査が終了していればいつもの画面になりますが、まだ審査が終わってない場合は下記のような画面になります。



仮にこの状態が3週間以上続くようであれば、アカウントが閉鎖、もしくは再審査をされずに放置されてしまった可能性があるため、アカウントロックの解除は難しくなります。

ただ、こうした場合もFacebook広告を諦める必要はありません。

③別人アカウントの作成

Facebookの規約上、グレーな方法ではありますが、別人アカウントを作ることでアカウントロックや個人アカウントの削除をされてもFacebook広告を出稿することができます。

ただ、通常よりやや面倒な手順が必要です。

登録の際は、下記の項目に気をつけ、できるだけ別人として判定されるような形で、新規でFacebookの個人アカウントを作っていきます。

- ・メールアドレスを変える
- ・IPアドレスを変える
- ・本名だけど英字で名前を入力

特に気をつけたいのが、IPアドレスの部分です。

アカウントが削除されてすぐに同じスマホ・PCで登録するとIPアドレスで同一人物と判断され、またすぐにアカウント停止になってしまう事が多いです。この部分の対策については後述する【個人アカウントの作成と育成】中の【IPアドレスの問題】を参照ください。

④ ビジネスマネージャの停止

ビジネスマネージャへログインをした後に下記のようなアラートが表示されていると、すべての広告アカウントが同時に停止になり、最悪、その個人アカウントで新たにビジネスマネージャを作ることすらできなくなります。



ビジネスマネージャが停止してしまった場合は、



「審査をリクエスト」から再審査依頼をすることもできます。

ただ、ほとんど門前払いされるため、あまり期待せずに連絡してみてください。

⑤ 広告アカウント停止について

Facebook広告で一番多く経験する「アカウント停止」がこの広告アカウントの停止です。

広告マネージャにログインすると下記のようなアラートが表示されます。

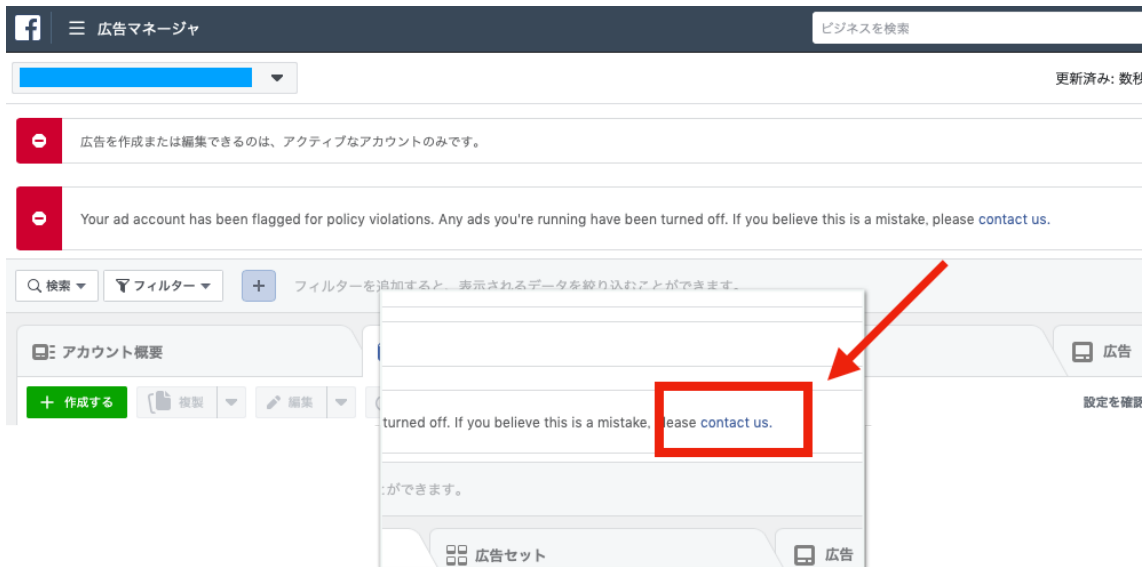


キャンペーンの配信の欄にも下記のような「広告アカウントが閉鎖されています」という表示が現れているので、こちらでも広告アカウントが停止されたということはわかります。

| | 配信 | リーチ | インプレッション |
|--|---|------------------------|------------|
| | <ul style="list-style-type: none">● 未配信 広告アカウントが閉鎖されています● オフ | 176,565 | 209 |
| | | 176,565 : 人数 | 209 |

この状態になると広告はもちろん配信されていませんし、積み上げてきた最適化のデータもすべてなくなってしまいます。

ただ、広告アカウント停止に関してはビジネスマネージャ停止よりも寛大な対応してくれることも有り、下記から異議申し立て・再審査の依頼をすることも可能です。



今回の画面では英語表記になっていますが、アカウントによっては日本語表記の場合もありますので、その都度、近い意味合いの選択肢を選んでください。

次の画面では再審査に関する情報や意見を書き、該当する広告アカウントを選び送信します。

停止した公式アカウントに関するヘルプ

Facebook広告ガイドラインに違反しているため、あなたのアカウントは停止されました。何らかの間違いにより停止されたと思われる場合は、アカウントの再開のため審査に必要な情報をご提供ください。

これはあなたのアカウントですか？

はい

いいえ

広告アカウントID

広告アカウントを選択 ▾

この調査に役立つ情報があればお知らせください

ポリシー違反はしていないので、再度、広告とサイトの両方をしっかりと確認してみてください。

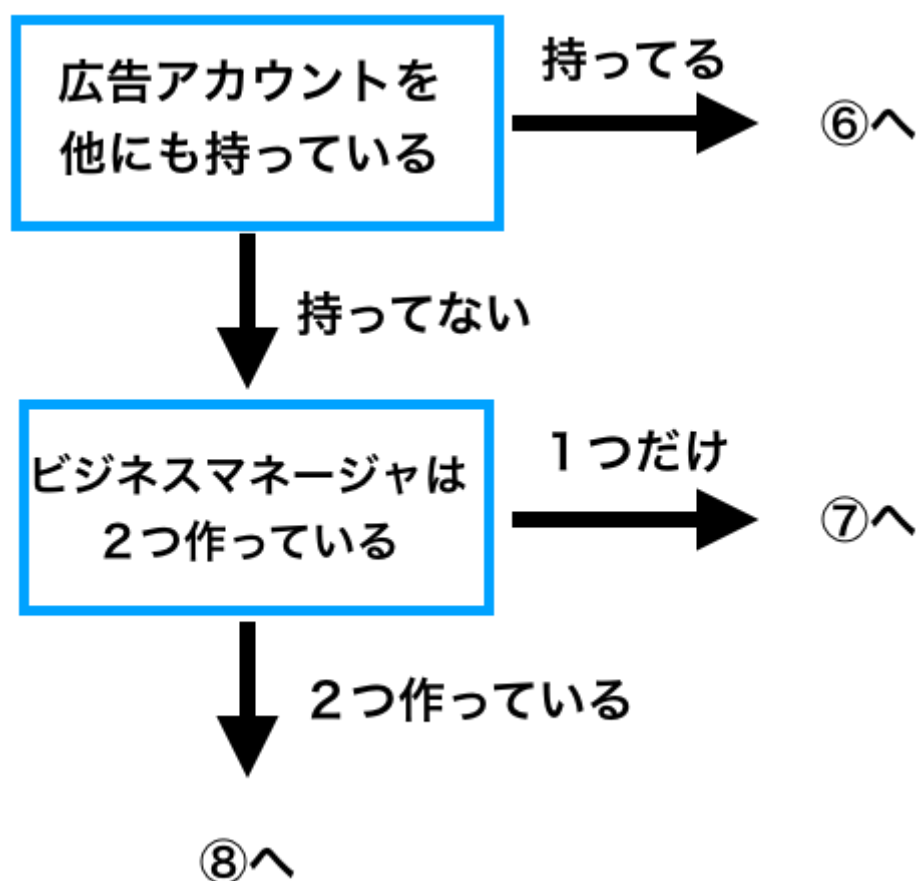
送信

このときに送信する内容に正解はないですが、「ポリシー違反していない」ということと、再開されないと困るという熱意をなるべく込めるような内容にしましょう。

しっかりと目視で再審査していることが多いようなので、バグが原因でアカウントが停止されてしまった場合などは再開されることも多いです。

ただ、これでも再開されないのであれば、次のフローチャートを参考に運用を再スタートさ

せましよう。



⑥ 広告アカウントを他にも持っている場合

広告アカウントが他にもある場合は、今まで運用していた広告、LPを新しい広告アカウントで運用することで今までと近い反応を早い時期から出すことができます。

ただ、注意点として、広告アカウントが停止になった広告（クリエイティブ）とLPなので、ポリシー違反がないかどうかの確認をする必要があります。

特にクリエイティブとLP内の画像は下記のFacebook広告のポリシーを今一度確認し、再投稿したけどまたすぐに広告アカウントが停止になった、ということがないようにしましょう。

Facebook広告ポリシー

<https://www.facebook.com/policies/ads>

⑦ ビジネスマネージャをもう1つ作成する

最初に作成したビジネスマネージャ以外にも、個人アカウント1つにつき2つまでビジネスマネージャを作ることができることが多いので、まだ作成していないという人はもう1つビ

ビジネスマネージャを作成しましょう。

⑧すべてのアカウントが止まってしまったら

2つのビジネスマネージャ上のすべての広告アカウントが止まってしまった場合、あなたの個人アカウントではもう広告アカウントの作成は不可能です。

ただ、それでもFacebook広告を運用していくことは可能です。

方法としては、家族や友人などにビジネスマネージャを作成してもらい、そのビジネスマネージャを使用する権限を付与してもらうという方法です。

Facebook広告に限らず、広告媒体は商品を持っている企業の代わりに、僕たちのような広告運用に詳しい人が、その企業の代わりに広告を代理で運用するということがよくあります。（広告代理店というのがそのたぐいの会社です）

そのため、仮にあなたのビジネスマネージャ内のすべての広告アカウントが停止しても、友人や家族のアカウントからビジネスマネージャ、広告アカウントの管理者権限を付与してもらうことで、自分のアカウントとして、広告を出稿することは可能です。

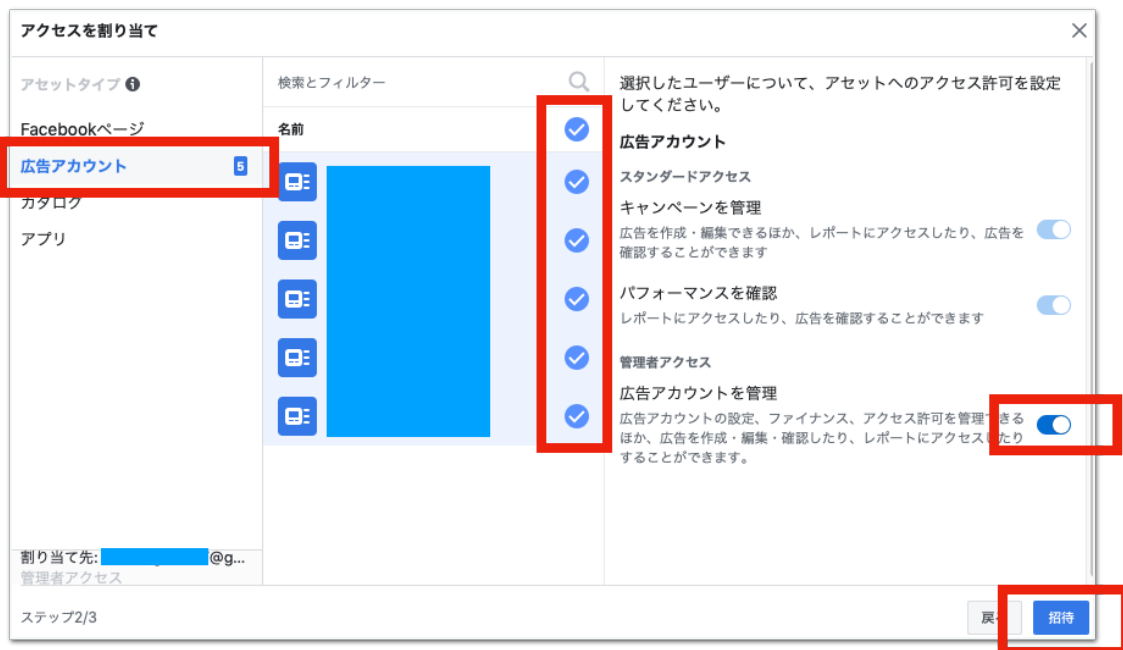
管理者権限を付与するには、まず招待してもらう側のビジネスマネージャのビジネス設定を開きます。（友人や家族のビジネスマネージャ）

The screenshot shows the Facebook Business Settings interface. On the left, there is a navigation menu with categories like 'ユーザー' (Users), 'アカウント' (Accounts), and 'データソース' (Data Sources). The 'ユーザー' section is selected, showing a list of users with their names and IDs. A red box highlights the '+ 追加' (Add) button in the top right corner of the user list. Below the list, a red arrow points to the bottom of the list with the text '↑追加するとここに表示される人が増える' (↑Adding people will increase the number of people displayed here). On the right side of the screen, there is a section for '割り当てられたアセット' (Assigned Assets) and a search bar for 'IDまたは名前で検索' (Search by ID or name).

ユーザーの欄をクリックし、【追加】ボタンをクリックする。



あなたのメールアドレスを入力し、管理者アクセス、詳細オプションで選択できるファイナンスエディター（支払い権限）をオンにして次へをクリックします。



次の画面で広告アカウントも合わせて付与する場合は、付与したい広告アカウントを選択し、広告アカウントを管理をオンにして、【招待】ボタンをクリックします。

その後、あなたのメールに下記のような招待メールが届きます。



これで、他の方から招待を受けて、ビジネスマネージャの権限を付与してもらえたので、あとはこれまでと変わらず、広告を運用していくことができます。

すべての工程を一度に覚える必要はありませんが、それぞれの状況に合わせて、必要な作業を行ってみてください。

◆個人アカウントの作成と育成

・個人アカウントの新規作成

このレポートの冒頭でもお伝えしましたが、今後アカウント対策を考えていく場合には、個人アカウントを強くすることが確実に最善策になってきます。そのためには、個人アカウント作成と育成についての知識をより深めていく必要があるのです。非常に重要な章になります。

個人アカウントを新規で作成する場合、実は作成段階でFB側からの信用が変わってきます。最初から間違った方法で作成してしまうと、ビジマネを作成するどころか、個人アカウ

ント作成直後にロックがかかったり、アカウント停止するという事態に直結してしまいます。

ここに関して、大前提で知っておきたいのが“PCは基本的に信用されていない”ということです。コロナ以降、特にFBはセキュリティが厳しくなっていますが、詐欺行為・迷惑行為をするアカウントのほとんどがPCから作成されていたためです。悪さをする業者がわざわざスマホで手動で行うことはほとんどなく、たいていの場合はアカウント乗っ取りも含めてツールで行われます。このツールを使うためにはPCで大量にアカウントを作成する必要があるため、必然的にFBからすると、PCで個人アカウントを新規作成しようとする行為事態、怪しいと見ているわけです。

なので、個人アカウントを新規で作成する場合は、必ずスマホで行うようにしましょう。もしPCで行っても、現状ですぐにセキュリティロックがかかる・アカウント停止になる・いつまでたってもビジマネを開設できない・開設できてもアカウントが停止するというケースがほとんどです。

また、スマホで作成する場合にも注意事項があります。それは、ChromeやSafariなどのブラウザよりもFBアプリに対しての信用が圧倒的に高いということです。これはFB側からすると必然で、自社で提供しているアプリに対しての信用度を高くしているため、アカウント作成直後からFB側の信用度がある程度は確保された状態でスタートできます。ただ、この信用度が確保された状態をキープするためにも、基本的にはスマホ端末（アプリ）1つにつき、作成して動かしている個人アカウントは1つにしておきましょう。

その後、ある程度のアクティビティを溜めた後、PCでのログイン・広告運用スタートをした後には基本的にスマホで動かす必要はないです。その後もアクティビティを溜めたい・溜める必要がある場合には全てPCからの操作だけで十分なので、スマホ端末からアプリは消してしまっても大丈夫です。新しくアカウントを作成して育てる場合には、一度アプリを削除した上で、また新規で作成してみてください。

・ 認証について

個人アカウントの信用度を上げるためにSMS認証をしている人は多いかと思います。また、個人アカウント販売業者もSMS認証済みのアカウントを高く販売している傾向があります。ただ、SMS認証は数ある信用度を上げるために1つの要素でしかなく、ポイントもそれほど大きくありません。

新規作成する個人アカウント全てをSMS認証しようとした場合、その都度、格安SIMを契約する必要などが出てきます。これはコストとリスクを考えた場合にあまりにも費用対効果が悪いので、弊社では現在、SMS認証は一切行っていません。その代わりに、新規で個人アカウントを作成する場合、SMS認証よりも手軽にできてFBからの信用アップのポイントも圧倒的に高い、二段階認証を必ず行うようにしています。

セキュリティ面を考えても、FB側からSMS認証よりも二段階認証が評価されていることは明らかです。逆に、二段階認証をしていないことが原因でセキュリティロック・不審なアクティビティ・アカウント停止につながるものが最近ではかなり増えているので、必ず二段階認証はしておきましょう。

・ IPアドレスの問題

同じスマホで何度か個人アカウントを作成し、その個人アカウントが不審なアクティビティ・アカウント停止・セキュリティロックなど相次いだ場合、スマホのIPアドレスがFBにマークされてしまいます。すると、同じIPアドレスで新しく個人アカウントを作成しても、すぐにアカウント停止することが最初から決まっている超弱小アカウントになってしまうので、IPアドレスを変更する必要があります。

IPアドレス変更については検索して頂くのがわかりやすいと思いますが、注意としては“FBを騙そうとしてはいけない”ということです。具体的には、IP偽装は絶対にNGですし、プロキシサーバーを使うのもNGです。そもそもプロキシサーバーのIPは既に汚れているので、そこで作成した個人アカウントは確実にすぐに停止します。

スマホのIPを変える方法としては、格安SIMを都度契約する・接続するWiFiのIPを変更するなどが確実です。このIPアドレスの問題はスマホだけでなく、広告運用をするPCでも同じ（後述します）なので、それぞれしっかりと対策をしていく必要があります。

また、IPアドレスを変える時は個人アカウントが変わる時だけに徹底しましょう。同じ個人アカウントなのにIPアドレスが変わるとするのはFBから見ても明らかに不審なアクティビティなので、同じ個人アカウントを使ってるのに短いスパンでIPアドレス変えないようにしましょう。

・ 個人アカウントの育成

個人アカウント育成に関しては、「これをやれば万全です」という指標はそもそもありません。というのも、アクティブな友達が1000人いようと1万人いようと、ビジネス利用している限りは、いつかは個人アカウントの広告利用制限がかかる仕組みになっているからです。これはアカウント停止と同じで、ネガティブポイントの蓄積によって利用制限がかかるので、そもそも物理的にいつかは必ず利用制限がかかってしまう仕組みをFBが導入しているためです。とはいえ、個人アカウントをしっかりと育成することで、そこまでの耐性をつけて、より長持ちする個人アカウントに育てることは可能です。

そのためには、アクティビティを溜めることが重要になってきます。ここで言うアクティビティとは、FB側からの信用の度合いをイメージして頂けるとわかりやすいかと思います。目には見えないアクティビティのレベルが上がれば上がるほど、個人アカウントが強くなり、結果的にビジマネ・広告アカウントもアカウント停止しにくくなってきます。

また、個人アカウントのアクティビティが低いとアップデートの影響をモロに食らいやすくなってしまいます。アップデート時期にツイッターなどでアカウント停止の話が常に出てきますが、それらはアクティビティが低い個人アカウントから影響を受ける仕組みになっています。同じ行為をしていても、全く同じクリエイティブ・記事LPを出していても、個人アカウントのアクティビティやビジマネ・広告アカウントに耐性のないアカウントからアップデートの影響でアカウント停止になってきます。

これはバグの影響も受けてしまうので、個人アカウントをしっかりと強くしておかないとアップデートには耐えられない、と理解しておくとうわかりやすいかと思います。また、アクティ

ビティが足りないとビジマネを作成できないので、正しい方法でFB側からの信用を得る方法を知ることが重要になってきます。

・アクティビティを溜める

アクティビティを溜めてFBからの信用を得るためには、総合的に個人アカウントの動きを考えていく必要があります。その中でも特に重要になるのが内部アクティビティです。具体的には、Facebookという空間の中で、その個人の立ち位置を明確にしてあげることです。

友達にいいね・コメントをしたり、ただFBグループに参加するというのもアクティビティには違いありませんが、ポイントとしてはそれほど高くありません。

特に重要なのが、友達の質と人数です。友達の人数が少ない個人アカウントでも生き残っているアカウントを持っている人はいるかと思いますが、（アクティビティのある）友達が多い方が、FBからするとその個人を信用する材料としては判断しやすいからなんですね。なので絶対的に、友達が多い方が有利である事実があります。ただし、その友達すらもアクティビティの足りない人ばかりを増やしては意味がありません。しっかり動きのある友達を作っていく必要があります。

例えば、同じ時期に作成した2つの個人アカウントがあるとします。どちらも、友達が20人いたとします。一方は、ハリウッドスター・各国の大統領など著名人ばかりだった場合。もう一方は、友達20人の全てが一般人だった場合。この2つの個人アカウントが、FBからの信用度が同じだと思いますか？極端な例ですが、こういう話です。なので、全くアクティブでない友達を増やしても意味がないですし、無機質にツールで友達を増やすといったことも的外れだということはわかると思います。

大事なのは、実際にアクティブで、FBからも実在する人物として認識されている可能性の高いアカウントの友達を増やしていくことです。とは言っても、一般ユーザーが日常的に使っている使っているようなアカウントを友達として増やしていくだけで十分なので、趣味などのFBグループでつながるのが近道です。

FBグループというコミュニティに属し、その中を回遊する行為も重要です。FBグループを会社や学校だと思って頂けるとわかりやすいかと思いますが、毎日しっかり出勤して他の社員と顔を合わせたり、会話をしている人は当然、その会社（FBグループ）からもしっかり信用されていきます。また、その会社自体の信用度もあります。人数が多く、FBから信用度の高い人が集まっているFBグループであればあるほど、アクティビティは貯まりやすくなってきます。

友達を増やしながらFBグループで交流もしていく、ということを考えると、なるべく自分の苦にならないアクティビティの溜め方を考えた方が良いでしょう。格闘技の観戦が趣味の人は、そういったFBグループに入って雑談しつつ友達を増やしていく。投資を勉強しようと思っている人は、そういった（特に怪しくない方面の）FBグループに入り、勉強をしながら友達を増やすなど。継続できて苦痛にならない範囲でアクティビティを溜めていくのが良いかと思います。

中には、「FBコミュニティに入り、友達を増やしたアカウントも作りましたが、何もしていないアカウントと比べて、特に優位性を感じなかった」という人もいますが、これはアクティビティが圧倒的に足りていないだけです。

友達の質にもよりますが、可能であれば100人以上は（アクティブな）友達が欲しいところです。（質の高い友達が多くなるほど、ちょっとやそつとの不審なアクティビティでアカウントが停止したりセキュリティロックがかかるといったことは格段に減っていきます）

また、内部アクティビティ以外に外部ピクセルを意識した動きも必要になってきます。ご存知の通り、ニュースサイト・ECサイトを始め、世界中のあらゆるサイトにFBのピクセルが埋め込まれています。それらを回遊しピクセルを発火させることで、FBがその個人の情報を収集＝アクティビティが蓄積されていきます。内部アクティビティほど重視する必要はないですが、FBアプリをインストール・ログインしているスマホで外部サイトをたまに見ていく行為も意識してみてください。

僕が今までにお話を聞いてきた会社・個人の方々のほとんどが、個人アカウントを作成して1～2週間ほど動かしてビジマネ作成という流れをしていました。その内容も、FBグループに参加したり、いいねをたまにしたりなどといった動作がほとんどでしたが、これでは圧倒的にアクティビティが足りないのでアカウント停止に真っ直ぐ突き進んでいるのと同じことです。

ここで話したとおり、アクティビティを溜めるという行為事態、なかなかの労働力が必要な作業になります。とは言っても、要点を押さえて毎日5～10分ほどを継続するだけでもかなりのアクティビティが貯まってきますが。

ここを手動で行うのか、スタッフ・外注さんに任せるのか。もしくは信用できるアカウントを買ってくるのかは、それぞれの方針や資金力によって変わってくる部分かとは思いますが。

・信用度が下がる行為

個人アカウントのアクティビティを溜めていくことで、FB側からの信用度が高まっていきます。ただ、逆にFB側からの信用度が下がっていく行為も存在します。ここを知っておかないと、その行為をした直後に不審なアクティビティと判断されたり、セキュリティロック・アカウント停止になる可能性が圧倒的に高まるので要注意です。もしくは、ビジマネを作成できるレベルのアクティビティがある個人アカウントでも、一時的にビジマネを作成できなくなったりします。

具体的には、IPアドレスが変わった（出張先など一時的なケースも）・端末が変わった・久しぶりにログインをした場合です。また、ログイン情報（ID・パスワード・二段階認証）や名前など重要な情報を変更した直後も同じです。

これらの状況のすぐ後（2～3日以内）にビジマネを作成しようとする、不審なアクティビティと判断されたり、セキュリティロック・アカウント停止になることが多いです。これは、アカウントが乗っ取られた後に重要な動き（ビジマネ作成）をしたために、アカウントを守るためにFBが自動で行うセキュリティシステムのようなものです。

信用度が下がった後にはしてはいけない動作としてはビジマネ作成以外にも、ビジマネへの管理者の追加・各種権限付与・広告アカウント作成・新規カード追加などです。特に決済情報

の関係、管理者追加や権限付与などは信用度が下がった直後だけでなく、アップデート時にも影響を受けやすいので、このあたりを触る際には状況判断をしっかりと行った上で触るようによみましょう。

◆リモートデスクトップについて

個人アカウント新規作成（スマホ）のIPアドレス問題の部分でもお伝えしましたが、何度かアカウント停止などが続いたIPアドレスはFB側からマークされます。結果、そのIPアドレスで次に作成した個人アカウントはすぐにアカウント停止しやすくなってしまいますが、これは広告運用をするPCも同じです。

そのPC端末で何度も（場合によっては1度でも）広告アカウント停止・広告の利用制限などをした場合、そのIPアドレスで新しい広告（個人アカウントが変わっても）の操作をしただけでアカウントが停止されてしまいます。そのため、IPアドレスを変えて新しく運用する必要があります。

ちなみに弊社では以前、IPアドレスと同じくらいMacアドレス変更を重要視していたのですが、最新の見解としてはMacアドレスを都度変更する必要はないと思っています。理由としては、Macアドレスを変更した場合の優位性をそれほど感じられないからです。そのMacアドレスで作成（もしくは運用）した個人アカウントだけアカウント停止されやすいという状況がもし続くのであれば、変更を検討してみるのも良いとは思いますが、基本的には運用する個人アカウントが変わる場合にはIPアドレスの変更・分散のみの対策で問題ありません。

普段使ってるPCのIPアドレスを変える方法は様々ありますが、やはり手間ですし、その方法だと1台のPCで1つの個人アカウントしか使えません。そのため、予備として個人アカウントを育てていくことや、複数の広告を同時に動かす場合には不向きです。

また、個人アカウントを自分で作成・広告運用する場合、理想的なのは都度IPを変えることです。都度IPアドレスを変更せずに不定期で変更していると、IPアドレスにフラグが立った場合、いつフラグが立ったのか、何が原因でBANされたのかの状況判断が難しくなります。結果、検証に膨大な時間が必要になるので、基本的には都度IPアドレスを変更することをおすすめします。

これら重要な対策をしっかりと行っていくのであれば、広告運用の際にはリモートデスクトップを使うのが良いです。リモートデスクトップの詳細については検索して頂きたいのですが、わかりやすく言うと、遠隔操作で利用できるPCといったイメージです。自分のPCから接続して全く別の端末を操作できるので、IPアドレスが自分のPCとは別になります。このリモートデスクトップを複数契約していくことで、IPアドレスの問題を回避しながら広告運用を進めることができます。色々な会社がこのリモートデスクトップのサービスを提供しているのですが、会社選びの際の2つのポイントをここでは紹介します。

まず1つ目は、契約の縛りがないサービスであること。多くの会社で2ヶ月～3ヶ月縛りの契約が条件になっています。契約期間の縛りがあると、その期間にそのIPアドレスが汚れてしまった場合、その後に契約を続けるメリットがありません。無駄にお金がかかってしまうので、縛りのない会社を選びましょう。

2つ目は、契約ごとにその都度IPアドレスが変わること。前の契約者のIPアドレスをそのまま使いまわしていたり、複数契約しても同じIPアドレスが付与されるクラウドデスクトップは使っても意味がありません。

コストを抑えながらアカウント対策をしていくためのリモートデスクトップ選びとしては上記2つが必須になってきます。ちなみに弊社では常に10個くらいの契約をキープするようにしていて、それぞれに運用できる個人アカウントを仕込んでいます。その個人アカウントに広告の利用制限がかかったり、セキュリティロック・アカウント停止などが起きた場合には、そのリモートデスクトップは解約して新しく契約・・・といった流れで常に循環させています。

◆個人アカウント購入時の見極め

個人アカウント販売は様々な業者が行っていますが、1つ5万以上するアカウントもあれば、10セットで5000円なんていう格安なアカウントもあります。

特に今まで重視されてきたのはアカウントを作成した年数です。たしかにコロナ以前は、アカウント作成が古いほどそのアカウントがFBから信用されている側面もありました。（あくまでも、信用度を図る数ある指標のうちの1つですが）

ただ、ここまで読んで頂ければおわかりかと思いますが、アカウント年数よりも圧倒的に重要なのがアカウントのアクティビティです。いくら古く作成されたアカウントでも、長期間寝かせていたり、ただ作成して放置していたようなアカウントに価値はありません。そういったアカウントが“ただ古いから”というだけで平気で5万・7万、場合によっては10万以上で取引されています。

それよりも、コロナ後に大きく変わったのが“アカウントを新規作成して育てるハードルの高さ”です。アカウント作成後、ちょっとした動作で不審なアクティビティになり、すぐにセキュリティロック・アカウント停止になる事例が頻発しています。これは明らかにセキュリティが高い状況を意味しています。ただ一方で、その状態にも関わらず、しっかり友達を増やしていき、セキュリティレベルを上げ、アクティビティを高めていったアカウントは強靱な耐性を持っています。自分で個人アカウントを育成する時にもここを意識すべきですし、もし個人アカウントを購入する場合もその部分を重要視する必要があります。

なので、個人アカウントを購入する時の見極めとしては、

- ・ 友達人数が多いこと（最低100人以上）
- ・ 直近でアクティビティがあること（数ヶ月間以上ログインしていないのは論外）
- ・ 年数はそれほど関係ない（同じアクティビティであれば古い方が良い）

このあたりを軸にしていくべきです。

最低限、このあたりを意識して選んでいくことで、広告を稼働させた時にもアカウント停止しにくい状況を作り出すことは可能です。

とはいえ、個人アカウントにも当たり外れは当然あるので、その点を理解した上で購入するのが良いです。

また、乗っ取った個人アカウントを販売するような悪質な業者もかなり多くいるので、業者選びは慎重に行った方が良いでしょう。業者から買う場合には、良いアカウントを安く買えることはほとんどないので、一般ユーザーから直接買い取るという方法もあります。アカウント選び・声かけ・決済まで全て人力で行うので時間と手間がかかりますが、良質なアカウントを安く買うこともできます。

◆弊社での個人アカウント販売について

今後、FB広告で生き残っていくためには個人アカウントが重要になってくるということをご理解頂けたかと思います。ただ、最前線でFB広告運用を続けている法人・個人の方々はかなり前からそのことに気付き、アクティビティの高い個人アカウントを使い、広告で大きな利益を上げ続けています。弊社もそのうちの1社ではありますが、常に最高の状態の個人アカウントを使っているので、長く生き残ることができています。

個人アカウントを育成することの重要性についてはお伝えしたので、まずはしっかりアクティビティを溜めることを重視して今後はあなたのビジネスを進めて頂くのが良いかと思えます。とはいえ、会社の規模や個人のリソースを考えると、個人アカウントを育てるよりも、アクティビティ高め個人アカウントを手っ取り早く購入して運用している法人・個人も増えています。

弊社でもクローズドにて個人アカウントの販売を行っています。友達が最低でも200人以上、アクティビティ・セキュリティレベル共に高い強靱な個人アカウントを割安で販売しているので、もし興味がある方は試してみてくださいと思います。

ただし、希少性が高い個人アカウントのみを取り扱っているので、毎週すぐにリピーターさんの注文で売り切れてしまいます。（毎週、月曜に予約販売を行っています）
今後は多く提供できるような体制づくりは進めていますが、現状は常に品薄状態が続いているので、その点ご理解頂けると幸いです。

弊社で行っている個人アカウント販売ページは以下になります。

[販売ページはこちら](#)

◆事前に頂いた質問

今回、アカウント対策についてのレポートをリリースするという事を事前にTwitterで告知していました。その際に質問・ご要望を募集したところ、ありがたいことにリプライを頂きました。このレポートの中で既に回答になっている部分もありますが、改めてお一人ずつ回答します。



FB広告の鬼ちゃん @fb_onichan · 30分

...

返信先: @BChangegearさん

SIM30枚で個人垢育ててるのですが30のうち10はバンされました。ビジマネは作っておらず、ただ個人垢にアクティビティを溜めてただけなんです。その電話番号を以前誰かがつかってたか、スマホに差さずにSMS認証の時以外はリモートデスクトップPCで作ってるのでIPが常時4,5台被ってるからなのか、



FB広告の鬼ちゃん @fb_onichan · 14分

...

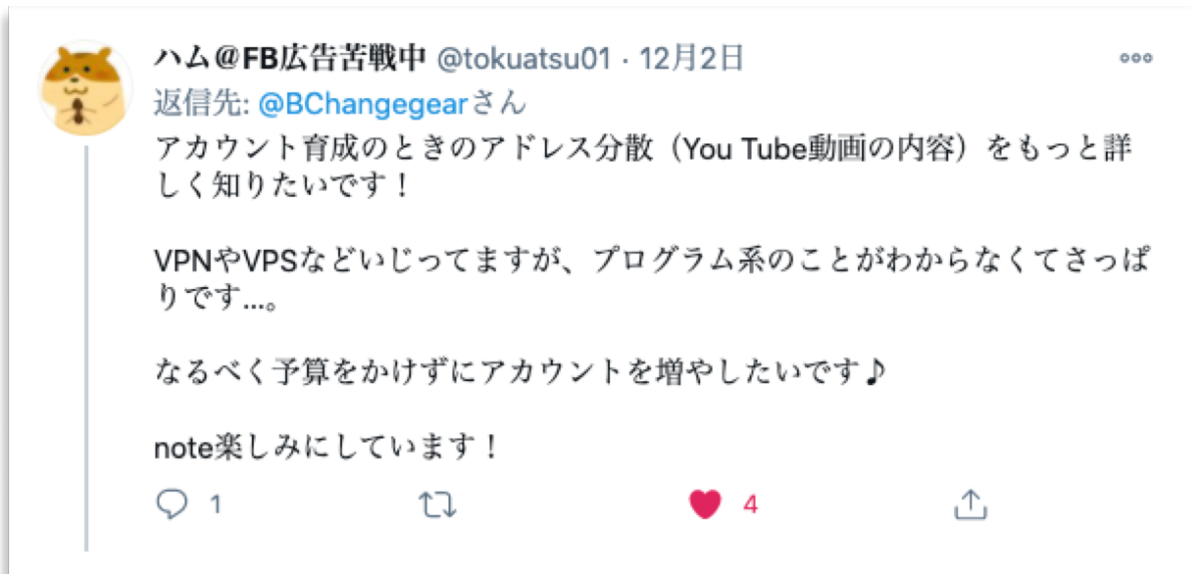
FB個人アカ育成中、36個中13個が個人アカ育成中にアカBANされました。全部実名です。ビジマネ作る以前に普通にFacebookできない笑。リモート環境のお名前デスクトップで育成してますが、IPがクラスDでしか分散してないので、同一の場所で新規アカウント作ったとAIがみなし、怪しいと判断したのかな？

詳しくお話を聞いてみないと状況を全て把握できていないため推測での考察になってしまいますが、おそらくリモートデスクトップ（PC）で個人アカウントを作成し、育成（アクティビティを溜める）はスマホ行っている状況かと思われます。

今回、レポートの中でもお伝えしましたが、個人アカウントを新規作成する時にPC（リモートデスクトップ含む）で作成するのは絶対にNGです。少し前は問題なかった時もありましたが、現状はPCを使う時点でFBには信用されていません。個人アカウント作成は必ずスマホから行うようにしましょう。（余談ですが、FBからはGoogleChromeもかなり厳しい目で見られています）

もし全てPCで作成していたのであれば、現状を考えると3分の1が残っている時点で、かなり良い方だというレベルです。基本的にはスマホで新規作成・アクティビティを溜めた後、広告運用をする時になって初めてPCでログイン・操作するようにすべきです。その後はスマホでログインをする必要はないので、空いたデバイスで新しい個人アカウントを作成・育成するのがおすすめです。

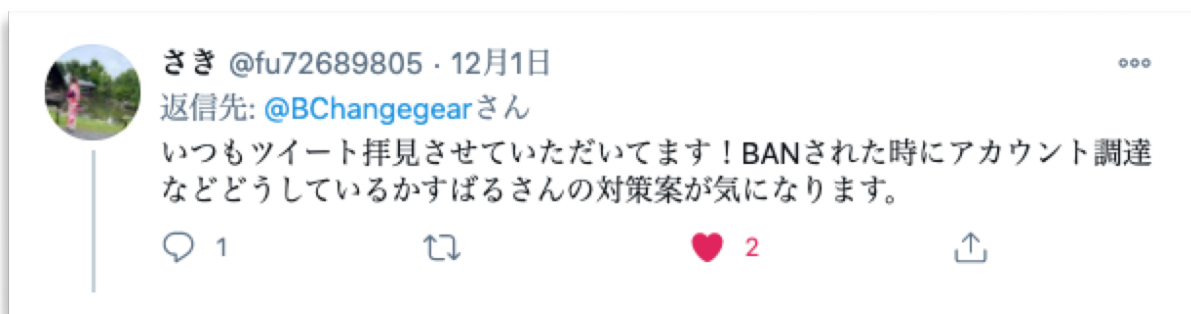
また、BAN・セキュリティロックがかかる時に実名か偽名かは関係ありません。本人確認で身分証を提出する前の段階ではFBから見て、実名かどうか確認する術がないためです。合わせて、電話番号が原因でのBANの可能性を減らすため、SMS認証はせずに二段階認証のみで済ませておくことをおすすめします。（FBからはSMS認証よりも二段階認証がセキュリティ的に上位と評価されています）



個人アカウントの育成（アクティビティを溜める行為）に関しては、基本的にスマホで行うべきです。理由としてはPCでの操作がそもそもFBから信用されていないためです。

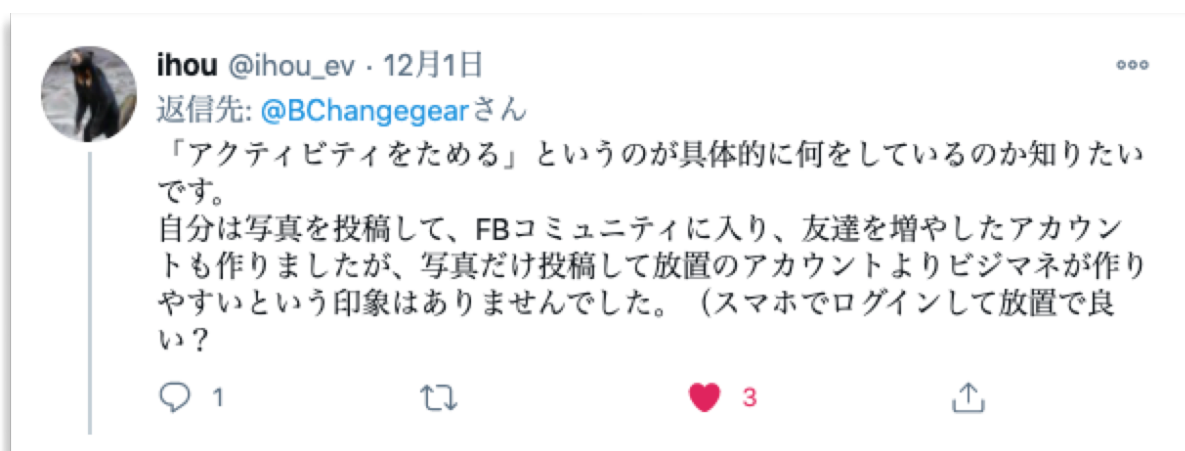
スマホで育成を行う前提のお話ですが、セキュリティ対策（FBからの信用）を考えると、SIMフリーの端末を用意して、格安スマホを都度契約していく方法が良いです。今は格安スマホも契約の縛りがないので、1回線あたり数百円で使い捨て感覚で乗り換えていくことができます。ポケットWiFiでIPアドレスを分散しているという人もいますが、接続するたびにIPアドレスが変わる仕組みのポケットWiFiは個人アカウントのアクティビティを溜めるという観点ではマイナス要素しかないなので、おすすめできません。

育成した後に広告運用をするにはPCでログインする形になりますが、やはりリモートデスクトップがオススメです。選び方については今回のレポートの該当箇所をご参照頂きたいのですが、複数契約することで固定されたIPアドレスを使い続けられるのでかなりメリットは大きいです。契約縛りのないリモートデスクトップを提供している会社もあるので、そういったサービスを利用すると固定費はかなり低く抑えながら複数の個人アカウントを動かし続けることができます。



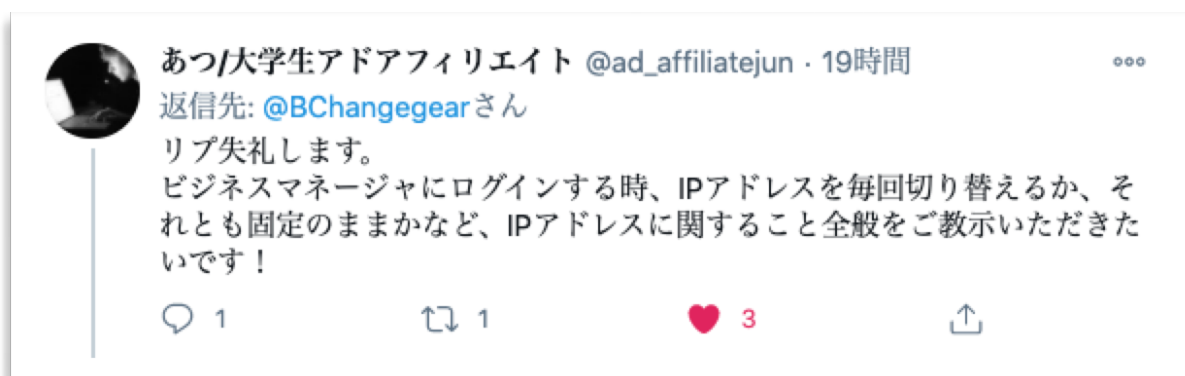
今回、レポートに載せた方法でゼロから自分で個人アカウントを育成することもあります。また、複数の個人アカウント販売業者から選別して購入することもあります。その上で、購入した個人アカウントの状況に合わせて、さらに育成する場合があります。

なので、今使っている個人アカウント全てをゼロから育てているというわけではないです。個人アカウントを購入する場合の注意点については今回のレポートにもまとめていますので、参考にして頂けますと幸いです。

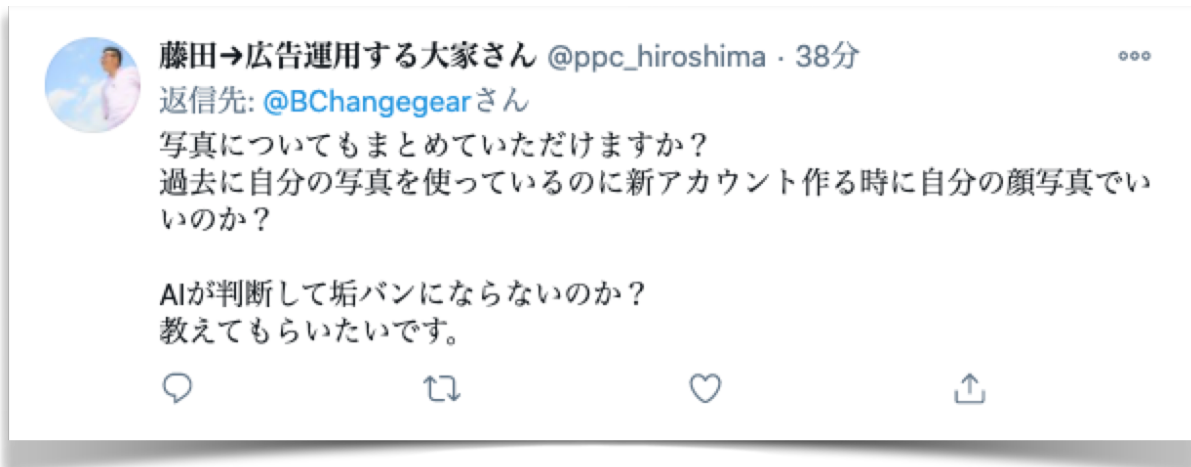


アクティビティを溜めるということについては今回のレポートでご説明したので、参考にして頂けると幸いです。どのくらい育成が必要かについての感覚的な話も書きましたが、それに比べると、今までのihouさんのアクティビティを溜めるという行為が明らかに足りないことはご理解頂けたかと思います。

ビジネスマネージャを作成できるレベル、というのは本当に最低ラインの話なので、その先の広告アカウントが停止しにくい状態までしっかりとアクティビティを溜めることを今後は意識してみてください。もちろん、広告を運用しながら個人アカウントを育てていくという方法でも大丈夫なので、ぜひ長い目で見てしっかり育ててみてください。



IPアドレスの部分でも書きましたが、コロコロとIPアドレスが変わるといのは明らかに不審なので、同じ個人アカウントでログインする場合はなるべくIPアドレスが変わらない状況で操作するようにしましょう。



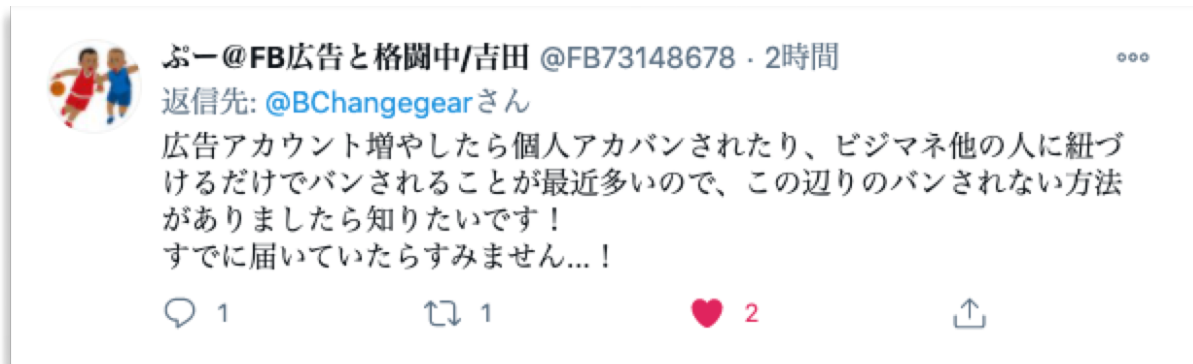
全く同じ写真を使うのは危険ですが、同じ人物の別写真を使うことは全く問題ないです。極端に言えば、プロフィール画像がイラストであっても今は問題ないです。（コロナ直後はかなり厳しくなり、イラストや横顔だけでセキュリティ厳しくなりましたが）

そもそも、同一人物の違う写真を完全な同一人物として判別する技術は、FBのAIに備わっていません。本人確認を見越してご自身の写真を設定するのであれば、その都度、違う写真を設定することをお勧めします。



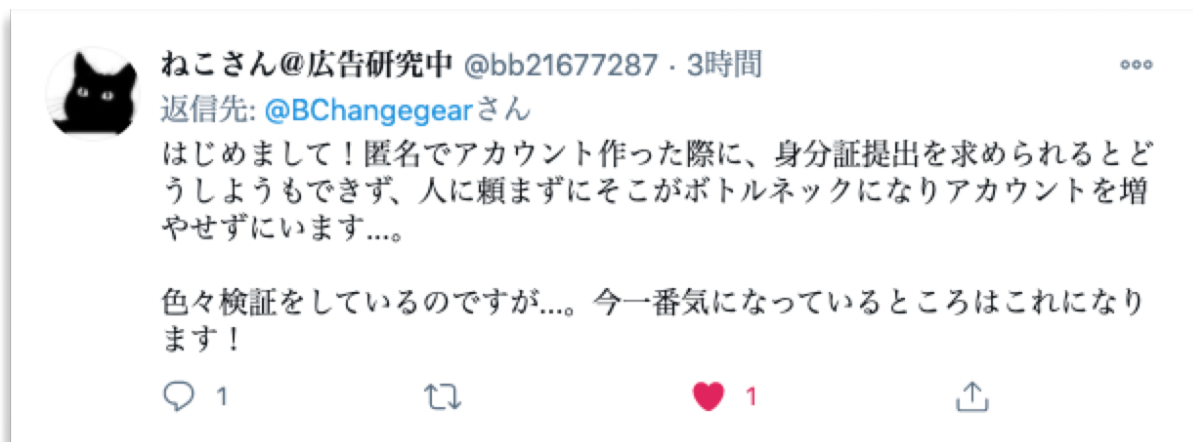
以前は僕もMacアドレス（PCそれぞれの識別番号）を重視していましたが、色々な角度からの検証の結果、今はそこまで重視していません。なので、PCは新しくせずに、IPアドレスを変える方法をメインに考えていきましょう。

また、リカバリーする場合に重要なのは、個人アカウントが変わったかどうかという部分で多くの判断が変わってきます。支払い（クレカ・paypal）は最初に設定した個人アカウントに紐づいているので、運用する個人アカウントが変わった場合には必ず変更しましょう。facebookページは必ずしも変更する必要はありませんが、変更することに労力がかからないのであれば、絶対に変更した方が良いです。広告画像についてはファイル名を変更することは無意味です。ドメイン・広告画像それぞれがFB側でフラグが立っている気配がないかどうかを見極めた上で、必要があれば別の画像を使いましょう。



今回のレポート中の「信用度が下がる行為」の部分をご参照ください。もし他の人を管理者として招待する場合も、ビジマネ作成後2～3週間以上（アップデート中は行わない方が良い）は時間を置いた方が良いです。信用度が低い状態で管理者を追加した時にビジマネが停止してしまうのは、信用できない人物からビジマネを守るセキュリティ装置のようなものです。

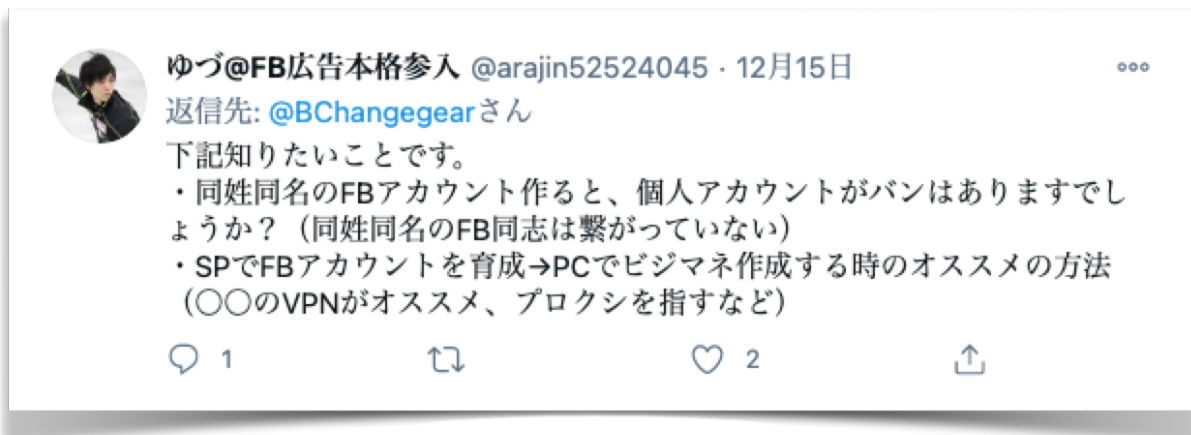
同じく広告アカウント増設に関しても、増設可能になってもすぐに増やさず、増やす場合も日を開けて連続動作にならないように注意してみてください。



身分証を提出しても突破できない問題はFB側の体制の話なので、僕たちにはどうしようもできません。ただし、そういった対応（身分証を提出してもアカウント停止を免れない）をされてしまう個人アカウントのほとんどはアクティビティが低めの個人アカウントです。

そもそも本人確認（身分証提出）を求められるというのは不審なアクティビティとFBに判断された場合です。なおかつ、本人確認をしなればいけないほどFBからそもそも信用されない（アクティビティが低い）個人アカウントです。

なので対策としては、しっかりとアクティビティが高い状態にしつつ、不審なアクティビティを行わない（今回のレポートでお伝えした注意点）ということが何よりの対策になってきます。



同姓同名の個人アカウントを作成したことが原因でBANされやすくなることは、あります。同じ名前で複数の個人アカウントが何度もBANした上で、さらに同じ名前で作成した場合などです。ただし、それだけが直接的な原因でBANするという可能性は低いと個人的には思っています。

上記の状態、特定の名前にFB側でフラグが立っている状態となり、さらにその名前の個人アカウントでちょっとした不審なアクティビティ（他の個人アカウントでは問題にならないようなレベルの動き）が出た時にBANするといった流れです。もしそのような状態が続く時には、そもそも本人確認を目指すのが難しいので、別の名前で作成する方が良いです。

また、PCで個人アカウントを動かす（ビジマネ作成など）場合ですが、やはりリモートデスクトップがおすすめです。この場で特定のサービスを例に挙げるのは難しいので、今回のレポートのリモートデスクトップの選び方を参考にしてください。ただ、プロキシは絶対に使わない方が良いです。理由は、他のユーザーによって汚されている可能性が高すぎるためです。

◆アカウント対策の重要な情報をお届けします

このたびは、FBアカウント対策のレポートを最後までご覧いただき、ありがとうございます。アカウント対策については巷で言われている噂レベルの話に騙されないことが一番です。そのためにも今回のレポートを書かせて頂きましたが、全体像を理解し、根本の対策を理解しておくことで、FB広告の運用は圧倒的にスムーズに進むことかと思えます。また、このレポートで書いたことを意識して進めるだけでもFB広告のアカウントBANは確実に減っていくはずですよ。

ただ、レポートという特性上、少し内容が伝わりづらい部分があったかもしれません。このあたりについて後日、改めてわかりやすく解説したメールをお送りさせていただきます。

また、FB広告のアカウント問題については日々、変化しています。それはFacebook社が頻りにアップデートを行なっているため、仕方のないことかもしれません。ただ、弊社では多くのクライアントからの情報共有・徹底した検証を常に行なっているため、今後もメールにてアカウント対策の重要な情報を共有させて頂きたいと思っています。

今後、あなたがこのステージで確実に生き残っていくためにも、お手伝いをさせて頂けると幸いです。

改めて、このたびは本レポートをお読み頂き、ありがとうございました。